

福島原発事故後の親子の生活と健康に 関する調査へのご協力のお願い

2011年3月11日の東日本大震災にともなう東京電力福島第一原子力発電所(以下、「福島原発」)の事故により、生活環境が大きく変化し、これまでとは異なる生活を余儀なくされ、不安やストレスを抱えておられる方が多いことと推察しております。

私ども「福島子ども健康プロジェクト」は、文部科学省科学研究費の助成を受け、福島原発事故後の親子の生活と健康を把握する目的でアンケート調査を行うこととなりました。この調査の結果を踏まえて、小さなお子さんを持つお母様たちが、子育てに関する不安や生活上の問題を自由に語り合う場を設け、子どもたちが健やかに成長する環境を作っていきたいと考えています。お忙しいところ、誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

【お子様に調査票が送られてきた理由と調査の頻度】

福島市、郡山市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、大玉村、三春町、本宮市の中通り9市町村にお住まいの生年月日が2008年(平成20年)4月2日から2009年(平成21年)4月1日までのお子様全員を対象に調査の参加協力をお願いしています。調査票は対象となったお子様のお母様(不在の場合は、保護者)がご記入ください。なお、本調査は、お子様が小学校に入学するまで年に一度の頻度で継続的に実施させていただく予定です。

【この調査に参加する3つのメリット】

- ①ご協力いただきました皆様には、調査票を確認後、薄謝(500円相当の図書カード)を進呈させていただくとともに、調査結果概要を後日お届けいたします。
- ②2013年夏頃を目安に、調査協力者を対象に健康相談とワークショップを開催いたします(その後も継続的な健康相談会を予定しています)。
- ③お母様(不在の場合は、保護者)とお子様の原発事故後の心と身体、そして生活の変化を記録し続けます(調査結果はその都度お返しいたします)。

【調査票の回収と謝礼の送付】

調査票がお手元に届きましたら、おおむね 2 週間を目安に同封の封筒にてご返送ください。**調査票を確認後、すぐに謝礼をお送り致します。**調査結果の概要につきましては、統計処理等がございますので、しばらくお待ちください。

【個人情報の取り扱い】

この調査票の表紙には、お名前をご記入いただくようになっております。これは①本調査の参加協力の確認、②調査票回収後の謝礼の送付、事務局より記入漏れ等の確認、③お母様とお子様の生活変化と健康状態を長期的に追跡させていただくためのものです。お寄せいただいたお答えは個人が特定できないように数字の情報に変換し、研究事務局が厳重に管理いたします。

【後援をいただいた団体】

福島市、二本松市、伊達市、桑折町、国見町、大玉村、三春町、本宮市、福島民友新聞社、福島民報社、コープふくしま

【福島子ども健康プロジェクトメンバー】

研究代表 成 元哲 中京大学現代社会学部 教授
メンバー 牛島佳代 福岡大学医学部 講師
松谷 満 中京大学現代社会学部 准教授
高木竜輔 いわき明星大学人文学部 准教授
永幡幸司 福島大学共生システム理工学類 准教授
守山正樹 福岡大学医学部 教授
田中美加 福岡大学医学部 講師

【お問い合わせ先】

この調査に関してご不明の点などがございましたら、下記までご遠慮なくお問い合わせください。また、本プロジェクトは専用のホームページを作成しておりますので、当プロジェクトの概要・メンバーの紹介、本調査の趣旨等を確認できます。

調査主体：福島子ども健康プロジェクト

事務局 福岡大学医学部衛生・公衆衛生学 講師 牛島佳代

〒814-0180 福岡市城南区七隈 7-45-1

Tel：092-801-1011 内線 3305 Fax：092-863-8892

<http://mother-child.jpnowellness.com/>